

馬見丘陵の古墳群 約12km



みどころ

馬見丘陵には築山古墳をはじめとして大規模な前方後円墳が多数築かれました。古代有力氏族である葛城氏の墓とする説や、大王家の墓のひとつとする説もあります。古墳の築かれた位置や大きさを体感しつつ、北から南に向かって巡るコースです。

1 いけがみこふん 池上古墳 (帆立貝式古墳・墳長92m・5世紀前半・国史跡)

近鉄箸尾駅改札前から道なりに西から南へ向かって進み、山岡量店の交差点を西に折れて集落内を直進し、二車線道路を渡って突き当たりを南へ折れ、溜池のほとりを西に入ると馬見丘陵公園の出入口があります。中に入ると古墳説明看板があり、古墳のぐるりを一周できます。墳丘は外堤に囲まれ、後円部は二段築成で、中段テラスや墳丘裾などに円筒埴輪列が巡っていました。なお、公園のこのエリアは平成22年9月中旬まで工事のため閉鎖されます。

2 おとめやまこふん 乙女山古墳 (帆立貝式古墳・墳長130m・5世紀前半・国史跡)

再び公園を出て西へ進み、二車線道路に出たら南東に向かいます。突き当たりを西へ折れて坂を上り、住宅が途切れた辺りの赤坂生花店の角を南に入ると馬見丘陵公園の出入口があり、中に入ると芝生広場がひらけて左手に古墳と説明看板が見えます。墳丘だけでなく周濠と外堤がよく残っており、形の美しいことでも知られます。後円部の北西には方形の造り出しがあり、円筒埴輪列の内側に家形埴輪などが並んでいました。墳丘はうっそうとした林であって進入不可能ですが、ぐるりは一周できます。

3 べっしょしたこふん 別所下古墳 (円墳・直径60m・4世紀後半)

乙女山古墳から公園の池のほとりに沿って散策道を歩き、石畳の坂をまっすぐ西へ上がる途中の左にあるこんもりとした林が古墳です。ぐるりを一周でき、説明看板は南東側にあります。二段築成で中段テラスに円筒埴輪列が巡ること、外堤が埋没していることが発掘調査で確認されました。なお、石畳の坂を上りきった場所にある公園館(無料・月曜休館)では、馬見丘陵古墳群に関する簡単な展示があります。

4 やまこふん ナガレ山古墳 (前方後円墳・墳長103m・4世紀後半・国史跡)

別所下古墳からすぐ南に見えます。一時破壊の危機に瀕しましたが、現在は復元整備されて馬見丘陵公園のシンボリック的存在となっています。前方部の東側斜面で墳丘に上がる通路状遺構が、後円部と前方部の両方で埋葬施設が発掘調査によって確認されました。墳丘各所に説明板があり、後円部に上れば盆地南部に向かって180度の視界がひらけます。



ナガレ山古墳

5 すやまこふん 築山古墳 (前方後円墳・墳長220m・4世紀後半・国特別史跡)

公園内を南に進み、陸橋を渡った辺りから左手に見える森が古墳です。馬見丘陵古墳群では最大級の規模です。現在、発掘調査及び整備工事のために墳丘へは進入不可能ですが、公園内に古墳説明看板があります。後円部には竪穴式石室が2基あり、前方部にも小規模な竪穴式石室があったようで、明治時代の盗掘によって多数の腕輪形石製品や滑石製模造品などが出土し、それらは現在宮内庁に収蔵されています。近年の発掘調査で、前方部西側から出島状に突き出た施設とその先に浮かぶ小島が確認されたほか、周濠底から船の部材が出土し、葬送に船が用いられたことが明らかとなりました。

6 さみたたからづかこふん 佐味田宝塚古墳 (前方後円墳・墳長110m・4世紀後半・国史跡)

公園の西側出入口を出て、「築山古墳西」交差点を北に渡ったところで二股に分かれる道を左側の佐味田方面に進みます。「河合町文化財案内図」看板のある三叉路を南に折り返し、すぐ西へ折れて道なりにしばらく進めば、雑木林となっている古墳があります。前方部前面に説明看板があります。明治時代の盗掘によって、後円部の埋葬施設から36枚の鏡や銅鏡、巴形銅器、石製品など多数の遺物が出土し、それらは現在東京国立博物館や宮内庁などに収蔵されています。

7 みつよししづかこふん 三吉石塚古墳 (帆立貝式古墳・墳長45m・5世紀後半・県史跡)

元来た道を馬見丘陵公園の出入口まで戻ってから、竹取公園に沿って南東側を通る道に入って道なりに進めば、広陵町立図書館を過ぎた辺りから前方に復元整備された古墳が見え始めます。後円部は二段築成で、上部に家形や短甲形、蓋形などの形象埴輪が立てられ、裾には円筒埴輪列が巡っていました。古墳の入口に説明板があります。



三吉石塚古墳

8 にきやまこふん 新木山古墳 (前方後円墳・墳長200m・5世紀か)

三吉石塚古墳のすぐ東側に隣接する陵墓参考地で、墳丘は進入禁止ですが葺石と円筒埴輪列の存在が知られています。周濠と外堤の形状がよく残っています。出土遺物には宮内庁所蔵の玉類がある程度で、築造時期や埋葬施設などは不明です。古墳説明看板はありません。

9 しんやまこふん 新山古墳 (前方後方墳・墳長137m・4世紀中頃)

新木山古墳の南側を通る四車線道路の歩道を東に下り、最初の信号の交差点を南に折れて、クランクする集落内の道路を一時間近くひたすら南へ抜けて行くと、高田川沿いの道路に出ます。その歩道を南に進み、コンビニエンスストアのある「そらつ橋西詰」交差点の南西に見える森が古墳です。陵墓参考地で墳丘には進入禁止ですが、北側にある小さな公園の西側入口に、灌木が茂って見えにくいものの古墳説明看板があります。埴輪をもち、後円部の竪穴式石室から三角縁神獣鏡や直弧文鏡など多数の鏡や、舶載の金銅製帯金具、玉類や腕輪形石製品が出土しました。

10 つきやまこふん 築山古墳 (前方後円墳・墳長210m・4世紀後半)

高田川沿いに南に向かい、二股に分かれる城上宮橋のたもとで右側の商店街を通る道の方に進みます。押しボタン信号の交差点で国道を越え、近鉄線の踏切を渡って最初の交差点を西へ折れて春日神社を過ぎ、二階建てアパートの角を南に折れて坂道を上ると、眼前に古墳が現れます。馬見丘陵の南端に築かれた古墳で、盾形の周濠が巡ります。陵墓参考地であり進入禁止です。宮内庁による墳丘周囲の発掘調査で円筒埴輪、形象埴輪などが出土しました。古墳説明看板はありません。

コース

- スタート 近鉄箸尾駅 徒歩 20分
- 1 池上古墳 徒歩 15分
- 2 乙女山古墳 徒歩 5分
- 3 別所下古墳 徒歩 5分
- 4 ナガレ山古墳 徒歩 10分
- 5 築山古墳 徒歩 25分
- 6 佐味田宝塚古墳 徒歩 35分
- 7 三吉石塚古墳 徒歩 すぐ
- 8 新木山古墳 徒歩 55分
- 9 新山古墳 徒歩 35分
- 10 築山古墳 徒歩 10分
- 11 コンピラ山古墳 徒歩 15分
- ゴール 近鉄築山駅



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平21業複、第425号)

平城遷都 1300年祭



©Heijyo-kyo 1300th Anniv.

注 紹介したコースには私有地なども含まれます。マナーを守って見学しましょう。